

# 衆議院財務金融委員会ニュース

【第 211 回国会】令和 5 年 3 月 10 日（金）、第 8 回の委員会が開かれました。

## 1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 越智隆雄君（自民）

補欠選任 理事 青山周平君（自民）（理事越智隆雄君今 10 日理事辞任につきその補欠）

## 2 関税定率法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 13 号）

- ・鈴木財務大臣兼金融担当大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。

- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

（賛成一自民、立憲、維新、公明、国民、共産、吉田豊史君）

- ・中西健治君外 5 名（自民、立憲、維新、公明、国民、共産）から提出された附帯決議案について、道下大樹君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。

- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。

（賛成一自民、立憲、維新、公明、国民、共産、吉田豊史君）

（質疑者）住吉寛紀君（維新）、岬麻紀君（維新）、前原誠司君（国民）、田村貴昭君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 住吉寛紀君（維新）

#### （1） 税関事務管理人制度の拡充

ア 輸入貨物の現状と課題

イ 今回の改正で不正事案を全て捕捉できるのか否かについての懸念に対する政府の見解

#### （2） 知的財産権の保護

ア 模倣品による知的財産侵害の被害を受けても対処できない地方の実情や中小企業への支援策及び模倣品を購入しようとする消費者への注意喚起

イ 模倣品等の知的財産侵害物品に対する水際対策の取組状況

#### （3） 税関職員の事務負担増加への懸念に対する大臣の所見

### 岬麻紀君（維新）

#### 輸出物品販売場制度

ア 輸出物品販売場（消費税免税店）の数の推移

イ 免税店数の今後の見通し及び同店の許可取消件数

ウ 直近 3 年の免税店の取消件数が 13 件と少ない理由

エ 不正案件の確認・把握における免税販売手続の完全電子化について、「スマート税関の実現に向けたアクションプラン 2022」に掲げられた取組による効果及び完全電子化が不正案件の抑止力となる可能性

オ 海外で主流となっている、消費税免税分を事後に還付する「リファンド方式」に対する平成 30 年 3 月 2 日の衆議院財務金融委員会における政府答弁についての現在の認識及び課題の検討状況

カ 「リファンド方式」の導入への方向性についての大臣の見解

### 前原誠司君（国民）

#### （1） 直近の国勢調査に基づき試算した場合の消費税のインボイス制度導入による税増収額

- (2) 税関事務管理人制度の拡充
  - ア 税関長が税関事務管理人として指定できることとなる対象者の範囲
  - イ 越境電子取引の増加による通販貨物の急増への対応策としての上記アの措置の実効性
- (3) 税関業務が増大するなかで、人員確保と同時に求められる業務の環境改善及び効率化に向けた大臣の決意

**田村貴昭君（共産）**

- (1) 加糖調製品に係る調整金徴収制度
  - ア TPP11発効による加糖調製品の輸入増が国内産糖の生産者等に対し脅威となることについての大臣の認識及びこの脅威に対し国内の生産者等を保護することが政府の基本姿勢であることの確認
  - イ 鹿児島県や沖縄県の離島等におけるサトウキビ生産の重要性に係る大臣の認識
- (2) 消費税のインボイス制度が国内産糖の生産者等に及ぼす影響
  - ア 沖縄県さとうきび対策本部のサトウキビ価格・政策確立に関する要望書の趣旨の確認
  - イ 免税事業者であるサトウキビ農家が課税事業者となることを想定しているのか否かの確認
  - ウ インボイス制度が砂糖の価格上昇を招くとの懸念に対する大臣の見解